

平成21年7月31日

各位

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
 代表者 取締役社長 中野 光雄
 (コード番号 3104)
 問合せ先責任者 専務執行役員 三木 康史
 (TEL 03-3665-7612)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,800	430	250	100	0.94
今回発表予想(B)	15,000	800	650	250	2.35
増減額(B-A)	200	370	400	150	
増減率(%)	1.4	86.0	160.0	150.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	21,400	1,849	1,708	203	1.88

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,800	1,450	1,100	500	4.71
今回発表予想(B)	32,000	2,000	1,700	700	6.59
増減額(B-A)	200	550	600	200	
増減率(%)	0.6	37.9	54.5	40.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	38,203	2,706	2,283	371	3.45

修正の理由

経済危機の影響により厳しい環境が続く中、売上高は、繊維事業及びその他事業で苦戦を強いられておりますが、液晶ガラス用途を主力とする研磨材事業は受注が順調に回復し、合計では当初発表数値を若干ながら上回る見通しです。利益面では、個人消費悪化に伴う需要低迷が続く中、繊維素材の採算が悪化している反面、研磨材事業の稼働率の改善とコスト削減などにより、予想利益を上回る見通しです。これらの状況を勘案し、第2四半期連結累計期間及び通期の売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益をそれぞれ上方修正いたしました。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。

以上